

2000年を前に3000年に向けて

読みたいものが見つからない、観たいものが見つからない、
聴きたいものが見つからない君に贈る

からす新聞



からすライブラリー からす新聞社内に設立

第20号

発行所 東京都中野区中央5丁目1番2号西田ビル4階 〒164-0011 からす新聞本社 電話03-3382-5963 ©からす新聞本社
からすホームページ <http://www.go-karasu.com/> 投書・お問い合わせのE-mail : colors@go-karasu.com

先頃、築地といつところまで出向いた。御存知のように外出を大の苦手とする私にとっては、かなりの道行き。寒風吹き荒ぶ中、単車を走らせる、走らせる。薄汚れたダウンジャケットにパラシートのパンツ。南極探検隊には及ばぬものの、それなりの防寒ではあるのだが、それでもなかなか耐えきれぬ青梅街道。靖国通り。富久町で右折して新宿通りへ舞い戻る。内堀通りはますます寒く、有楽町のガードを渡る頃合いには、このまま凍死してしまつたのか、と。

築地に赴いたのは、本願寺といつところまで言まれる、友だちのような後輩のような、三つ歳下の仲間の年忌のためである。初めて訪れたのだが、かなりの土地、建物。山門附近の路上に単車を残し、ずかずか入っていきこうとすると、何やら大きな葬儀が行われていた。喪服に包まれた、それなりの人々の静かな山、仏頂面の警備員たち。図々しい私ではあるが、その中に割り込んで入るのは少々気が引けたほど。少々気が引けたけれども、その中に割り込んで図々しく入っていった。制服着用のひとりに声をかけると、兎に角、寺務所に行ってみてくれ、と。灰色の雪だるまのような出で立ちで、ヘルメットを片手に、黒い人波の中をのしと歩くさまは、傍から眺めれば、幾分、異様だったかもしれない。広々とした敷地を横切つて踏み入れてみると、寺務所の中もまた広く、古い大学を思い出させる

ような、天井の高い造り。人がけなく閑散としていて、寒さが増すようである。迷子になつてあふたしていったところ、ひよっこり、当の家族一行に遭遇。簡単な挨拶を交わし、案内されるまま進んでゆくと、本堂に辿り着いた。わずかに六人の集まりにはいくら何でも広すぎる。ちよつとした体育館ぐらゐはあるのである。寺務所の手違いなのか、小さい部屋が空いていなかったのか。執れにしても、普段は少人数の仏事では使われぬ由、貴重な経験なのかもしれない。

促されるままに上がったところは、本尊まで三メートルほどの至近距離。仏像も仏具もひとつひとつの柱さえも実に見事で、無宗教の私ではあるが、呆気にとられるしかなかった。眼前で端然と執り行われる儀式の一員であることが不思議な気がした。こは、歴史と技術と目に見える宗教的エネルギーに支配されているのか。そんな気分には水を差すように、ちやりんとき背後から音が響いた。一般の来訪者が賽銭箱に幾許かを投げ入れたのである。目と鼻の先で行われている我々の法事とは無関係に、正面の本尊を拜んでは去つてゆく。一緒に私まで拜まれているように妙な感じだ。兎にも角にも、ここが特殊な空間であることはまちがいない。


「生まれた「死んだ」という事実なら概ねまちが(八面に続く)

今日の紙面から

- 二面(オーラ面)
松本と話そう。ピン、ボン、パンクイズにあたっく
- 三面(芸術面)
レイズ・ギャラリー
- T・Nのおすすめホームページ
- 四面(新コーナー・からすL・b)
からす新聞おすすめの本・CD・映画などを紹介します。
- 五面(ヤンヒポ)
スタートレックの魅力 伏せ字なし。

からす新聞は学習塾カラーズが母体となつて、世界に文化と芸術を発信すべく発行している新聞です。

誰でも自由に参加できます(無茶じやない範囲で)。



松本と話そう。ピン、ポン、パン

アー。疲れた。ほんとに、ね。くたただよ。年末の12月17日から今日、1月8日までの間、正月の1日しか休んでない。ほとんど、幻聴が聞こえそうだよ。犬のように働いたな。9日はなんとか、ポーズとできそうだ。

でも、あつという間だったけどエキサイティングでした。新宿、町田、厚木、藤沢、横浜、、、と一体、延べで何キロ動いたんだろう。何人の人と会ったんだろう。何万語しゃべったんだろう。

ってなことで新年ですね。おめでとう。みなさん元気ですか。ピンパンパンは今、こんな具合。そう、頭の中、ぐるぐる回転味噌スープ。そう、だから言葉もバラバラね。

そんで、ええと、何話そうか。新年の抱負ほうふ? いいね。ええと、、、ない。だって、ないんだし。2000年問題? 笑ったね。ジョージが刺された? コメントがやっぱ間抜けだったね。『だいたいようぶだけど、痛い。』だって。おみくじ? 末吉。初夢? きもちよかった。名波? どうすんだらうね。雅子さん? やることやってんじゃない、ヒロノミヤ。でもやっぱ丁寧語なのかな。小学生殺人事件? ひどいね。あと、なんかあったけ? 好きな奴? いても言うわけないだろ。

そういえば、ことしのジャイアンツ、凄いね。工藤、江藤、メイ。もっともっと、獲りまくればいい。黒木、城島、イチロー、ペタジー

二、グリフィーJR、いけいけ。長島さんだぞ。何やったって許される、戦後日本の宝物。100年に一度のスター。やっぱ、ジャイアンツは日本の、『ヤンキース』、サッカー界でいうと、『マンチェスターU』なんだから。オーラある人がどんどん集まればいい。そういえばさ、江藤がさ、巨人に移るのが決定になった時、周りの他球団の、特に、本命視されてた横浜の選手たちの言葉は格好悪かったな。「どうせ、やっぱ、金なんだから。いいじゃんか。金だったって。金にこだわってるのは自分らの方じゃないか。でも、日本人ってここらへんが、せこいっていうか、陰険いんけんっていうのか、暗いよね。オレが江藤だったら、そうでなくたって、「金だよ。いいだろ。ま、きみらもがんばれよ。」って言うだろうな。そこらへんはアメリカとかヨーロッパは好きだな。堂々と誇りを持ってビッグチームに移籍して行くもんな。この間、テレビ見てたら、ペルージャの中田の同僚の連中なんか、「居て欲しいけど、奴はもっとでかいところでやったほうがいい。それが、奴のためにもなると思う。」なんて言ってた。スケールが違うよね。そう、だから日本は野球もサッカーも中身つままないんだらうな。

あと、なんかあったっけ。あ、そういえば、面白い子(湘南の藤沢の仕事の講師の高校生だけども)がいたな。そいつは、自分一人ですべて種まき運動をやってるそう。人の家の軒先や庭に朝顔の種を蒔いてまわっているそう。いつかそれが芽を吹き花を咲かせその人の心をなごませることがあればということらしい。アーティストだと思った。美しい。

今年も色々な面白い人と出会いそうで、楽しみだね。てなことでもみなさん、また。

読者から投書がありました。

19号の「クイズにあたック」の1番「色のついたコークをもやすと(あぶると)何色になるのでしょうか?」についてです。答が「白色」になっていたけど、チョークによっては白にならないものもあります。

(中野区本町 Nさん)

タク・ウエジマの

クイズにアタック

1. 水に浮く野菜と沈む野菜は?
2. いちごのつぶつぶはなーに?
3. 東京タワーより高くジャンプするにはどうしたらよいか?(道具は使わない)

(こたえは8ページ)

中國料理

コウ テン エン
廣天園
 コウ コウ エン
裕香園

好吃好香

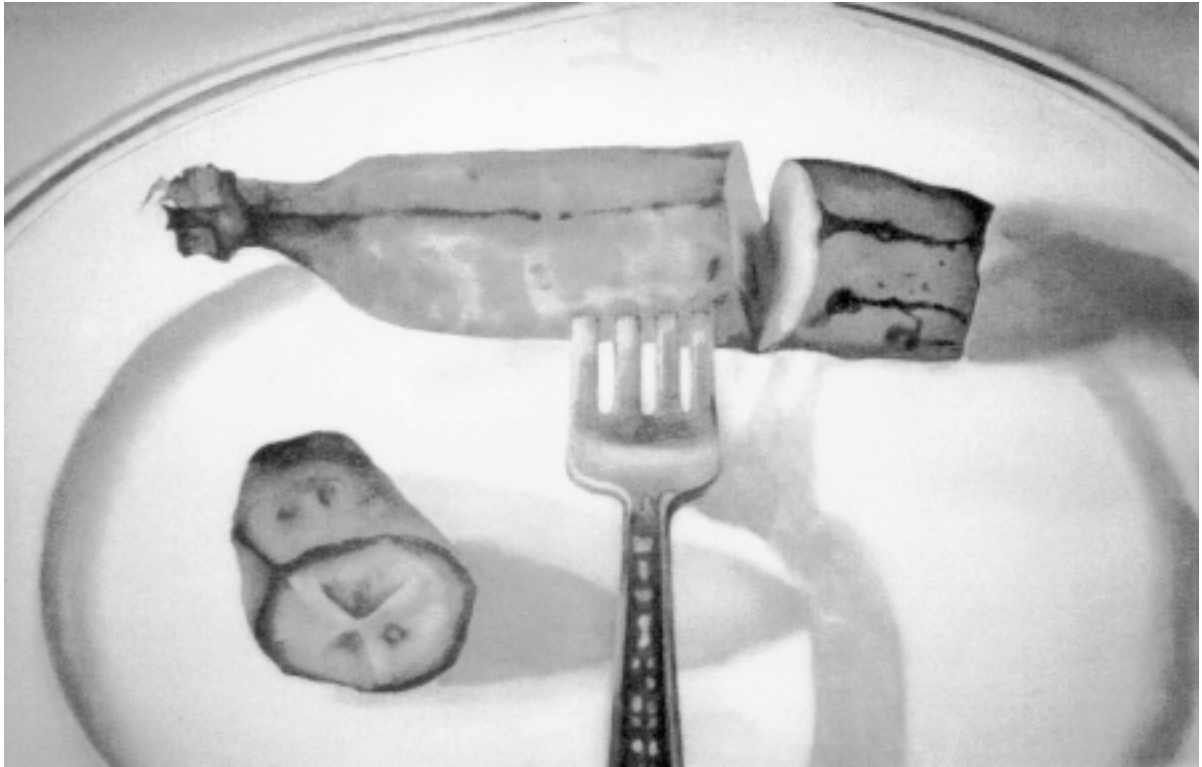
Ken-ichi Shinozaki, architect



4-3-44-1 Narita-higashi, Suginami-ku,
 Tokyo 166-0015,
 Voice : +81-3-3220-0644
 Facsimile : +81-3-3220-0640;
 e-mail: geta-s@t3.rim.or.jp

篠崎健一アトリエ

Rei's Gallery



T・Nのおすすめホームページ

携帯電話特集

MOBILE TODAY

<http://www.kumagaya.or.jp/~toba/mobile/news.html>

今やこれなしでは生活が不便だと言うほど普及した携帯電話。もう少しで固定電話のシェアを抜かす勢いで増加し、学生にとっては大事なコミュニケーションツールになっています。そうした携帯電話も各社の競争も激しく世界でもめまぐるしい変化を起こしている今、新しい情報を得ることは友達との間で結構話のネタになります。ほぼ毎日更新。

全機種対応・着メロ専門サイト~アット・メロディー

<http://www.interq.or.jp/www-user/blossom/melo/>

女子高生からどんどんはやりだした着メロ。BOSSのCMで使われている曲はサラリーマンにもとてもウケてるそうです。ソフトも曲もタダ! けど、少しめんどくさそうですが、マウス一本で操作できるとのことなので慣れれば簡単。(たぶん^^;)これであなたも着メロマスターだ!!

携帯博物館

<http://www.rx.x0.com/~museum/ann/>

各会社の携帯電話の画像やちょっとしたデータが乗っています。最新機種の画像も会社のページや新聞よりも早く見れちゃったりできま

す。“機種変更しようかな~”ってときにわざわざ店にカタログを取りに行かなくてもいいのがGOOD!

Mobile square

<http://www.mobiletechno.net/>

携帯についてどうしても分からないことがあればやっぱり掲示板。書いておけば誰かが答えてくれるかも。(“かも!”です)この掲示板は各会社に分かれていてわかりやすくできています。*注意:IDOはDDICellularと同じ掲示板です。

BOSS?が提供する携帯電話についての掲示板

<http://www.bossweb.com/pform/keitai/dat/bbs.html#message>

ここではPHSも携帯も会社の別もあつたもんじゃないが、とてつもない量の質問が掲載されています。もちろん投稿もできます。

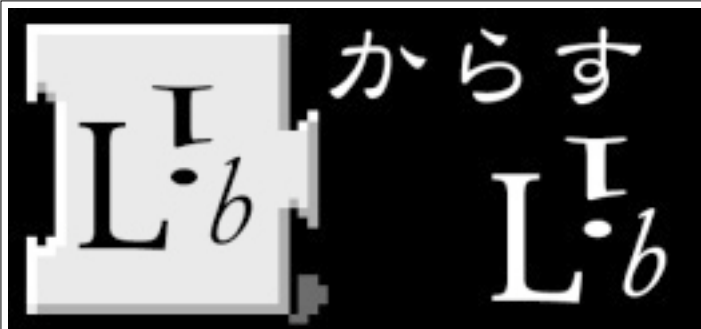
けれどよくサーバーが落ちていて見られないときがあります。量では一番です。

CDMAONEの掲示板

<http://www1.newweb.ne.jp/cgi-bin/wa/board/cdmaone/?top=new>

名前の通りのCDMAONEのページです。みなさん結構答えてくれてフレンドリーな感じのページです。

以上、第一回T・N(Taishin・Nakai)の携帯電話お勧めホームページは終わりです。



Books

『まっぴたつの子爵』イタロ・カルヴィーノ(河島英昭訳)
晶文社、1971年 ISBN4-7949-1702-3 C0397

1952年に発表された荒唐無稽な物語。ばかばかしい設定のもと、ばかばかしい物語が展開していくのだが、戦争の暗い影がまだ彼の心の中に陰を落としていたのだろう、全体に陰鬱なムードが漂っている。特に、前半では死傷者や病人の山、うんざりするような部分がなくもない。仮に他の書き手によれば陰鬱なものにしかなりえないような光景だが、彼の卓越した筆致に救われている。語りすぎず黙しすぎず、ほどよい言葉で寓話的に。

悲哀と癖のある笑いの中、様々な人間や光景が無駄なく描き出されていく。長くはない紙数でこれだけの世界を構築してしまう力量はさすがと言うしかない。これ以降、一気に開花する彼独特の文学を予感させるに余りある。カルヴィーノにしかない感触が、確かにある。

これを一つの教訓譚として受け止める人も多いかもしれない。もちろん、そうしていけないわけではない。けれども、読後の、私の心の中のものもやは何なのだろう。このつかみきれない感覚は、暫く尾を引きそうだ。

(全太)

Films

『プライベート・ライアン(Saving Private Ryan)』
1998年

監督：スティーブン・スピルバーグ

出演：トム・ハンクス、エドワード・バーンズ、マット・デイモン、トム・サイズモア、ジョバンニ・リビッシ

スピルバーグという「シンドラーのリスト」を思い出す。長編モノでも飽きずに見られる数少ない作品だ。そのスピルバーグが昨年日本で公開された「プライベート・ライアン」を作った。第二次世界大戦モノでは「史上最大の作戦」「遠すぎた橋」などが思い起こされるが、ここ数年は少なかった。なぜまた第二次世界大戦モノなのかはよくわからないが、色々な戦争モノの中でこの映画ほどリアルな戦闘シーンを練り上げたものは無いと思う。当然自分は戦争体験者ではないが、1944年6月6日のノルマンディーはきっとあんな光景だったのだと容易に想像ができる。実際、帰還兵からの称賛も数多かったとの事。冒頭20分の迫力は特筆に値するだろう。

肝心のストーリーや全体の出来はシンドラーほどでは無いが、ハリウッド映画の趣向という意味ではじゅうぶん枠の中に収まっている。出演してい



CDs
CELTIC GRACES : A BEST OF IRELAND
『ケルティック・グレイス～ベスト・オブ・アイルランド』
東芝EMI、1995年 TOCP-8547

「懐かしい」音楽

ユーラシア大陸の東のはずれに、太平洋にさらされて浮かぶのが日本であり、アイルランドは、反対の西の端にあって大西洋に洗われる島国です。このアイルランドにその多くが住む、ケルトという民族の音楽を集めたのが、このCDです。互いに大陸の辺境だから通じあうのかどうか、とにかく私には、彼らの音楽は懐かしいのです。私の言う「懐かしさ」とは、生まれ故郷の、子供のころの、という意味ではありません。それ以前の「ふるさと」というか、前世から知ってるようなとか、DNAに響くとか、とにかく何やら訳の分からないのだけれど、言葉としては、「懐かしい」というのがしっくり来るのです。

夢見心地に誘うような音を奏でるイーリアンパイプという楽器が特に印象的です。これはアイルランド特有の楽器で、スコットランドのバグパイプにも似た音を出しますが、特徴的なのは、口ではなく、わき腹とひじの間に挟んだジャバラをふいご代わりにして空気を送るところ。また、ティンホイッスルという縦笛は、映画「タイタニック」のテーマ曲の印象的なイントロを奏でていた楽器。アイルランド人たちにとっては子供のおもちゃだそうですが、さすがに達人が吹くと、違うものです(もちろんそれなりのものを使っているのだから)。そのほか、フィドル(バイオリンの別名)やフルートも、ケルト音楽にはなくてはならない楽器たちです。

演奏するのは、すべて1970年代以降にデビューした、比較的新しい世代のミュージシャンたちです。伝統的な民謡に、時に新しい解釈を加えながら、なかなか心地よい演奏を聴かせてくれています。

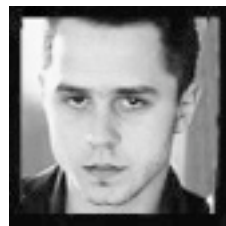
(望月)

る役者も個性派揃いでそれぞれのキャラクターがよく練られており、好演を見せている。中でも衛生兵役のジョバンニ・リビッシ*は類まれな個性を際立たせている。レンタルビデオショップにも沢山並んでいるので、容易に見つかるはずだ。間違っても「シン・レッド・ライン」と間違いないように、大失敗すること請け合い。

(小張 寅憎)

*ジョバンニ・リビッシ(Giovanni Ribisi)

最近、有名俳優が次々と亡くなって寂しい限りだ。そんな中スクリーンの中で見つけたお奨め個性派俳優を紹介しよう。ジョバンニ・リビッシ、この名前にピンとくる人は相当の映画フェチだろう。日本では最新作「カーラの結婚宣言(The Ohter Sister、2000年2月劇場公開予定)」ジュリエット・ルイス(Juliette Lewis)の相手役で軽度の知的障害者役を好演している。「プライベート・ライアン(UIP配生兵役で個性のある主演作の中では「モッドスクワッド(MGM配リース)」はクールだ。映された同タイトルの版。覆面刑事として働3人の若者の話で、他の(「ロミオとジュリエット」エックス「スクリーム」)に出演)が演じている。ストーリーは至極単純明快だが音と映像の組み合わせがなかなかクールに仕上がっている。残念ながら日本では劇場公開されなかったが、ビデオになるので味わって欲しい。



他の出演作品：X-ファイル(The X-Files)、ニューヨーク市警・ブルー(NYPD Blue)、シカゴ・ホープ(Chicago Hope)など。

ヤンヒポのだらだらだア

前回は不覚にも大量な伏せ字が入ってしまった。しかし、よくよく観察をしてみると伏せ字を施している部分は全て原文と同じ字数での伏せ字になっている。これは一重に編集諸氏の好意に他ならないのであろう。ここに、諸氏に対して謝意と敬意を表したいと思う。今後は伏せ字になってしまうような原稿は執筆しないと心に誓う事を付け加えたい。しかし、、、前回の原稿も含めてだが、伏せ字が必要な文章だとはこればかりも思っていなかった事実が有る事を伏せておいた方がいいのかなあ。

今回は毎回目次にある「アメリカンレポート」の通り、あまり気がつかれていないアメリカ文化の醍醐味を紹介するのだ。ヤンヒポの年齢は不祥なのであくまでも伝聞という位置づけだが、30数年前でもアメリカのテレビシリーズは日本人に多大な影響を与えていた。家族でテレビにかじりついていた代表格は「コンバット」サンダース軍曹の洪さには子供ながらに涙したものだ。その頃ちょうど白黒時代からカラーに移行した。もう一つ少年ヤンヒポをとりこにしたのが「スタートレック・宇宙大作戦」だ。カーク船長にミスタースポックといえは覚えていた読者も多いだろう。アメリカで制作されたのは30年以上前の話(1966年から放映)。その後スタートレックは着々と進化を続け現在では第4作目「スタートレック・ボイジャー」を放映中なのだ。

スタートレックシリーズの魅力を一言で語る事は無意味に近いが、あえて表すとすると一重に作り手の気合い、見る側の思い入れにつきるだろう。それに付随するのは莫大な製作費をついやしている「パラマウントピクチャー」と原作者の「ジーン・ロッデンベリー」の功績は大である。さすがにシリーズ1作目の「宇宙大作戦」の映像技術は現在ほどでは無いが、登場人物や背景などの練り具合は当時、日本のテレビや映画がカメラ、ウルトラマン、ゴジラ、仮面ライダー、月光仮面だった事を思うと作り手の思い入れや想像力の差を感じられずにはいられない。その証拠に前述の国産は大人になってから見ようという気になれないが、少なくともスタートレックシリーズについては子供から大人まで全てに感動を与えられるのだ。

スタートレックシリーズは前述の通り4つのシリーズがある。記念すべき第一作目は「スタートレック・宇宙大作戦(TOS)」第2作は「スタートレック・ジェネレーション(TNG)」以下「スタートレック・ディープスペースナイン(DS9)」4作目は現在米国で放映中の「スタートレック・ボイジャー(VOY)」となる。原作者のジーン・ロッデンベリーはTNGの途中で他界しているが、その意志を継いだ「リック・パーマン、マイケル・ピラー」が後の2作を手がけている。この4作を通して特筆すべき点は全てのシリーズを

通して背景が一貫している事だろう。TOSこそ23世紀が舞台になっていてそれ以降のシリーズが24世紀を舞台にしている点では若干の差はあるが、米国ではTNGの放映まで18年のブランクがあった事を考えると当然の成り行きとも思える。しかし、TOSで描かれた敵人類がTNGでは同盟を結んでいて、新たな領域への探検に望みまた新たな敵と遭遇するというように、現実社会でも起こりえる時代経過から背景設定を施している。その上で「転送装置、ホロデッキ」などの斬新なアイデアと相対性理論に基づく「ワープ航法」などのリアリズムも上手く調和している。さらにこれらがテレビシリーズであるがゆえに劇場用映画とは違い、本質的な問題にも触れながら基本的には一話完結で進んで行き、しかも全編を通したテーマも追っているのが見始めると最後まで見られずにはいられなくなる。そして中途では劇場用映画も作り折り込まれているので、結局、全部見ないと気が済まなくなってしまうのだ。実際の所、スタートレックに出会わなければもっと楽で気軽なテレビ人生を送れたような気もしないではない。しかしながら、もし知りえなかったら真のエンターテインメントにも出会わなかった事にもなるだろう。

最後に、前半2作で毎回冒頭にある語りのフレーズを吹き替え版で紹介しておこう。

Star Trek The Original Series

宇宙、
それは人類に残された最後の開拓地である。そこには人類の想像を絶する新しい文明、新しい生命が待ち受けているに違いない。
これは人類初の試みとして五年間の調査飛行に飛びたった宇宙船US Sエンタープライズ号の驚異に満ちた物語である

Star Trek The Next Generation

宇宙、
そこは最後のフロンティア。
これは宇宙戦艦エンタープライズ号が新世代のクルーのもとに24世紀において任務を続行し未知の世界を探索して新しい生命と文明を求め人類未踏の宇宙に勇敢に航海した物語である。

このフレーズを聞いて、宇宙大作戦のテーマソングが頭を過ったあなたは間違いなく「トレッキー」でしょう。(次回、機会があれば「じゃあ、何から見ればいいの?」に答えるよん、じゃ、Adios amigo!)

2000年も、日本は危ない!

あなたの平穏な生活を脅かすストーカーを、本場米国で培った最新の技術と装備を駆使して退治します。あなた一人で悩まないでください。



相談無料
秘密厳守

防犯用品販売・
防犯対策指導も
致します。

produced by
P.D.Agency

tora@st.rim.or.jp
1843 N. Cherokee AVE: APT. #216
Los Angeles: CA 90028
USA
voice : +1-310-493-1001
facsimile : +1-323-466-5645

りんごの木

若尾喜重

わたしの部屋に、一枚のりんごの木という絵が飾ってある
りんごには、時の指導者の顔写真が写っている
レーニン、スターリン、毛沢東、ヒトラー、金日成、カスト
ロ、ルーズベルト、チャーチル等
まもなく、2千年がやってくる
ミレニアム、ミレニアム、と浮かれています わたし達を
じっと見ている
否、じっと見ているのは、歴史に翻弄されて、死んでいった
無数の、無名の人々の目だ
ミレニアム、情報通信革命元年、それで、しこたま、儲ける
錬金術士たち
二千年の始りは、平和の中の戦争、それとも本当の戦争？
そこで歴史は又、繰り返えされる

未完成

佐藤 良示

言葉が、枯れ葉のように、冬の風に舞い乍ら、螺旋状
に上昇してゆく。
いつしか私の言葉は、砂塵の如く荒涼とした世界に、
ただ深く積ってゆくだけだろうか？ 日の光りのまど
ろみ、囲炉裏の灯火が揺れる冬の世界で、過ぎ去りし
時間に問い掛ける。
私は、偽善者ですか？
私は、楽道家ですか？
私は、厭世家ですか？
私は、支配する精霊からは、返答がない。
「何故？」と自問せども、私を納得させる答えは、返っ
てこない。
ただ除夜の鐘の音が、周囲を漂い乍ら、ささやいてゆ
く……。
「自分を識る必要はないヨ!!」傲慢さを身に附けず、時
間の流れに溺れないように!!と……。

じょじ伊東の第3回
演劇講座

先日、昔一緒に芝居をやったやつが、南米とヨーロッパの旅行から
帰ってきた。最近、全然芝居とは縁のないやつで、だからといって
堅気になって真面目に生活していたかというところでもない。まあ、適
当に働いて、適当なことをしているうちに、小金が溜まり、「じゃあ、旅
行でもするか。」という感じで、半年間程、ぶらぶらとしてきたようである。
そういえば、もう1人、家にウサギを預けっぱなしにしているやつ
も、半年程、ヨーロッパを徘徊していました。芝居をやめると、みんな海
外に行きたくなるものなのだろうか。

さて、南米紀行の中で、イグアスの滝の話があった。私は観たことが
ないが、あまりに見事すぎて、作り物っぽく見えてしまうようだ。感覚
としては、何となく分かるような気がするが、何せ適当なやつなので、
どこまで信用していいのか分からない。そういえば、昔映画の中で、何
の映画だったか忘れてしまったが、ロバート・デ・ニーロが、飛び下り
ていたのが、このイグアスの滝だったような気がする。ロバート・デ・
ニーロといえば、『タクシードライバー』で、パンクなモヒカン野郎を、
『レイジングブル』で、ヘビー級のボクサーを、『1900年』で、真面目そう
な地主の息子をと、作品ごとに、全く異なる役柄を、それぞれに成り
きった形で、私達に見せてくれている。体型から髪型、老け具合まで、
見事に演じ分けている。彼については、面白い逸話があって、一度「イエ
ス・キリストの役を演じてほしい。」という依頼があった時に、「自分は
人間であって、神ではないので出来ない。」という理由で断わつたらしい。
何となく納得させられてしまいそうだが、実際どうだろうか？今回は、
演技に於いて、なりきることが、重要であるかについて考えてみる
ことにしたい。

私自身、芝居を始めた頃、変な役が多くて(いまでも変な役は少なから
ずある。)女役やロボットなどをやった。見に来たお客さんに「女に
は見えなかった。」とかよく言われたものです。まあ、これは単純に私自
身の技術不足であると認めざるを得ないでしょう。今だったら、もう少
しはうまくできるでしょう。しかし、技術的にいかにうまく女を演じた
としても、果たしてそれが面白いものであるかについては疑問が残ります。
すべてが本当にリアルに行われればそれで良いのかと言う問題で
す。昔、南米の方では、キリストの復活を扱った儀式の中で、本当に人
間を十字架に釘で打ちつけ、その人が気絶し息を吹き返すのを見て人々
は熱狂したそうですが、今現在、それを生で見せられて、面白いものな
んでしょうか？悪趣味な見せ物にしかならないでしょう。また、殺人を
扱った作品の中で役者が、過去に殺人を犯したことがあることが重要な
のかと言う問題です。仮にその方が、面白いとするならば、映画や演劇
は必要でなくなってしまうでしょう。勿論、役者にとって色々な経験を
積むことは重要ですが、すべてを体験することなど不可能なものです。
なりきるにしても限度があることを念頭に置くべきです。見るものを騙し
てこそ役者としての意味があります。だれも、本当の殴り合いや殺しあ
いを見て、面白くないでしょう。一部のばか者を除けば……。

それでは、役を演じる上で何が大切かということになってきます。想
像力です。自分の中にあるものと、役柄として要求されているものと
を、重ね合わせた上での人格を想像することです。そこに登場した人格
は、自分とも役柄とも違う、新しく想像されたもので、この人格があっ
てこそ観客を騙すことが出来ます。以前述べたように、そこに、演じて
いる自分と、それを見守るもう1人の客観的な目を持った自分とが共存
できるからです。

我々役者は、この想像力を身に付けるために、日々色々なものを見たり
聞いたりしながら、多くの経験を積んでいく必要があると考えます。
役者だけでなく、人間としても必要なことでしょう。

韓国放談

Y2K問題などさまざまな問題を孕みながらも、2000年です。2000年と言っても、西暦でのこと。日本では平成12年。もちろん西暦は今や世界の標準なんだから、それはそれとして従うわけですが、この西洋人の暦による2000年の節目に、西洋でなく、東洋に目を向けてみるというのもまた、一興でありましょう。

そんなわけで、まずはお隣り、韓国に注目してみましょ。2002年のサッカー・ワールドカップの正式大会名は、"World cup Korea-Japan"と決まったそうです。この順番、どうでしょう?「なんで"韓日"なんだ、ふつう"日韓"だろ、"Japan-Korea"に改めろ!」と熱くなる人もいられるかもしれませんが。私自身はどうでもいいと考えていますが、国力の差から考えても、日本国民のプライドからしても、"Japan-Korea"に情動的に賛成する人は、相当数いるのではないのでしょうか。韓国内に目を向けてみれば、当然のごとく、やっぱり今回の名称決定を歓迎する人は多いようです。

日本と韓国の関係は、両国の国民によって、兄弟、ライバル、先輩後輩などとさまざまに捉えられています。しかし、私たちはお隣り韓国のことを、まだあまりよく知らないのかもしれない。そこで今回、そんな韓国からゲストをお迎えして行われた対談を、ほんの一部ではありますが、ここに紹介いたします。少しでも、皆さんの韓国理解の助けになればと、切に希望する次第であります。

今回お忙しい中おいでくださったのは、金さん、金さん、それから金さんです。全部金さんなので、便宜上、勝手に(イ)(ロ)(ハ)に分けさせていただきます。皆さん忙しく韓国と日本を往復してらっしゃる20代から30代の男性で、金(イ)さんと金(ロ)さんは韓国食品の輸入販売、金(ハ)さんはアクセサリーを取り扱うお仕事をいらっしゃいます。

司会 : いや、それにしても皆さん、金さんなんですねえ。やっぱり、「金」という姓は、韓国には多いんですか?

金(イ) : そうですね。

金(ロ) : いちばん多いです。

司会 : おお、お二人、なかなか息が合ってますねえ。

金(イ) : ええ、やっぱり、一人より二人、二人より三人ですね。人は集まったほうが力を出せますね。今こそ、私たちは力を合わせなくてはなりませんね。アジアの力です。いつまでも、アメリカとか、ヨーロッパとかに負けてはいけませんね。私たちと、日本と、そして中国と、力を合わせると、勝つことが、できます。やりましょあ。

司会 : いやあ、力入ってますねえ。そうはいっても、インターネットも普及してきたことだし、これからは、アジアだのアメリカだの細かいこと言ってられない時代が来るんじゃないでしょうか。

金(ロ) : だめです。私たち最近、経済危機で大変でした。もうかったの、アメリカとヨーロッパです。私たちの世代、日本に恨み、ありません。でも、アメリカの態度、許せません。私たちの国、三等国扱い。私たち、悔しい思い胸の中、こうやって日本来て、頑張ってます。

金(イ) : 地図見ると、良く分かります。私たちの国、中国と、日本とに挟まれて、たくさん苦勞してきました。中国に攻められたり、日本に攻められたりで大変でした。だから、団体で力合わせることが、必要です。今の敵、西洋です。

司会 : いやあー、そう言われてもですねえ。あんまり私たち日本人には、そもそもどの国にしても、敵っていう捉え方ってないように思うんですが・・・。

金(ハ) : お前たち、なに言ってるのね。本当の敵、北でしょうね。

司会 : 北ってやっぱりあの、北朝鮮のことですか?

金(ハ) : もちろんですね。ノースコリアですね。

司会 : しかしあなたは立派な体格してらっしゃいますねえ。その体はどうやって?

金(ハ) : 軍隊ですね。

司会 : 軍隊にいらっしゃたんですか?

金(ハ) : 韓国、みんな軍隊行きますね。

司会 : えっ?必ず行かなくちゃいけないんですか?

金(ハ) : そうですね。

司会 : ってことは、徴兵制なんですね。

金(イ)金(ロ) :
 : そうです。22才から、2年間です。

金(ハ) : わたし、、、ふたり、、、やったですね。

司会 : やった?

金(ハ) : 北朝鮮、境界線、私いましたね。夜、一晩中ずっとこうやって、、、

司会 : 伏せて?

金(ハ) : そうそう、伏せて、、、ライフル、こうやって構えてですね、、、それで、人出てきたら、撃っていいわけだったので、、、そこ、、、人入っちゃ駄目、、

司会 : 立ち入り禁止? あっそうか、中立地帯か、

金(ハ) : わたし、2年間で、2人ですね、やったですね、、パァーンパァーン・・・。

司会 :いやあ、驚きました。私たちとは緊張感が違いますね。

金(ハ) : やりたい、やりたくない、関係ないですね。あること、命令だけです。

司会 : 金(イ)さん、金(ロ)さんには、軍隊時代の苦勞話は何かありますか?

金(ロ) : 私、恋人に会えなくて、たいへん苦勞しました。

金(イ) : 私も、そうでした。彼女に、振られてしまいました。

司会 : それもまた、大変でしたねえ。でも、今はお二人とも、なかなか素敵な彼女がいらっしゃるようで・・・。

金(イ)金(ロ) :
 : いえいえ、そんなこと、ありません。

司会 : ちょっとここで、飛び入りですが、お二人の彼女たちにも、加わってもらいましょう。金さん、紹介してください。

金(イ) : シンディーとアリスです。フィリピンから来た女の子です。シンディーは心理学を、アリスは、経営学を勉強しています。

司会 : シンディー、日本はどうですか?

シンディ : ア、、、ア、、、ワ、、、タ、、、シ、、、ニッポン、、、フフフフ

司会 : あれ?日本語はだめ?、、、、Do you speak English?

シンディ : Oh, no.

司会 : Tagalog*?

シンディ :
、
、
アリス :
、
シンディ : - っ っ 。
アリス : 、 --。 っ っ っ

なんとも、收拾がつかなくなってしまったので、この辺で終わります。(望月)

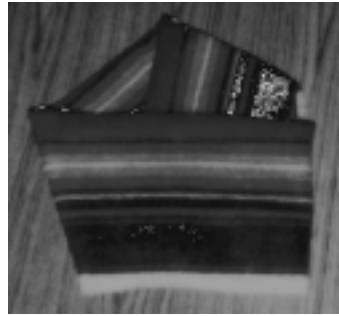
Tagalog* タガログ語。フィリピンの現地語。

中山歯科クリニック

診療時間.....AM9:00 ~ PM9:00
水曜・土曜AM9:00 ~ PM6:00
休診日・祭日

03-3381-1109

ハンドメイド娘



一枚の布きれの三変化 by 中村美紀



(一面の続き)

いなく確認はできるものの、その正確な仕組みや、ましてや意味に関しては、私達には全くわかっていない。この点については、存外、科学は無力なのである。当然、死というものがいつどこで誰のもとに訪れるのか、などということは知る由もない。だからこそ、ある種、博打的な保険という制度が幅を利かせたり、カルトに溺れるものが現われたりするわけである。

完全燃焼して灰になった矢吹文を除外すれば、死は生の唐突な中断である。

今とて、予測したり予防したりする絶対的方法はない。にもかかわらず、人はそんな可能性など考慮に入れぬ、連続した感覚で生きていく。旧ソ連のような長期計画を立てるのもそうだし、永遠に無料にならない高速道路などもそうだ。短期的なところでは、私が宿題を渡すのも生徒が迫ってくる入試に恐々としているのもそうである。晩ごはんのおかずは何かな、と考へたりすることだってそんなのだ。現実的な話、宿題

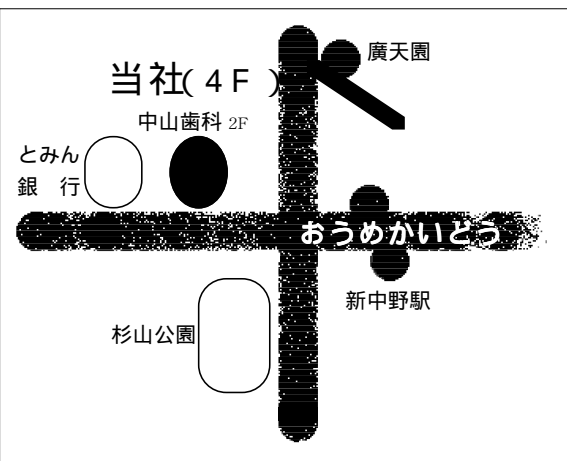
を渡す際に、来週の水曜までに私の身の上になんか起こった場合、この宿題は望月に提出してくれたまえなどという心配は露ほどもしない。まあ、今までのところ、そういう事態は発生しなかったのだし、可能性としては相当に低く、物理の実験なら、無視できる範囲に相当するのだらう。しかしながら、その日は、宗教空間で時間を過ごしたせいかな、飲みすぎた赤ワインのせいかな、あるいは、寒すぎた冬の風のせいなのか、普段なら、無視できるようなささやかな可能性も無視できないような気分でした。

小学生の頃、恐れつつも、その到来を焦がれていた一九九九年。遙か彼方に思っていたその年も、間もなく終わるうとしていた。世界が減るような出来事はどうも起こらないようである。来年もまた、多くの人間が生まれ、多くの人間が死に、生きている人はひとつ歳をとる。そういうことだ。

(全太)

クイズにあたっくの解答

1. 土の中にできるのと空中にできるのと。
2. たね
3. 普通にジャンプする(東京タワーはジャンプしません)。



来社見学を御希望の方は左記のところへ。
丸ノ内線新中野駅徒歩〇分

編集後記
からす新聞第二〇号、無事、発行できました。新聞に限らず、これからも新企画目白押しなので、みなさんの御協力をお願いいたします。御意見・御要望をぜひお寄せ下さい。次号発行予定日は二〇〇〇年一月二五日です。編集協力者、特派員記者、及び、投稿を熱烈にお待ちしております。

1クラス4人までの少人数制学習塾



中野区本町2-50-12 ドエル中野201号
03-3379-1451

